

# 画像埋め込みのサンプル

---

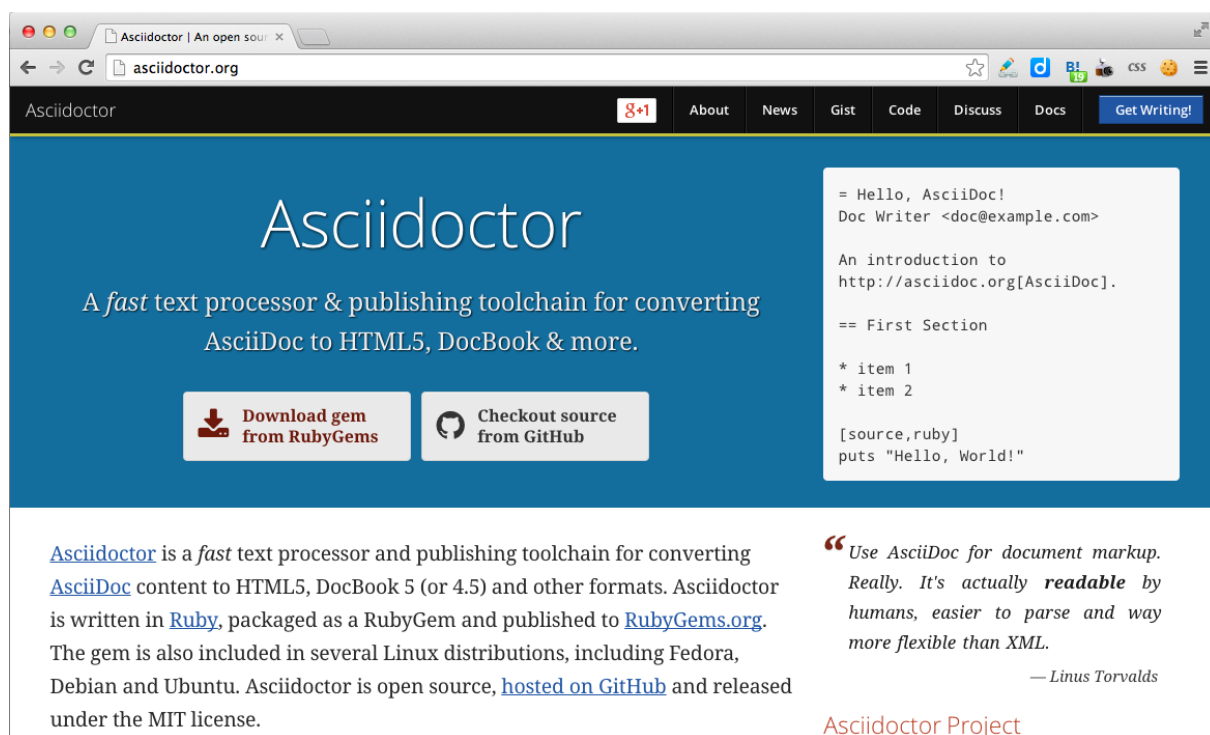
## 目次

1. 画像埋め込みのサンプル .....	1
1.1. 画像ファイルの埋め込み .....	1
1.2. Cacaoで作成した図をPNGで埋め込み .....	1
1.3. Cacaoで作成した図をSVGで埋め込み .....	2
1.3.1. Cacaoの図をSVGでエクスポート .....	2
1.3.2. SVGを編集してwidthとheight属性を追加 .....	2
1.3.3. SVGをAsciiDoc文書に埋め込み .....	3

# 第1章 画像埋め込みのサンプル

## 1.1. 画像ファイルの埋め込み

``image::ファイル名[']`と書けば画像を埋め込みます。以下に例を示します。



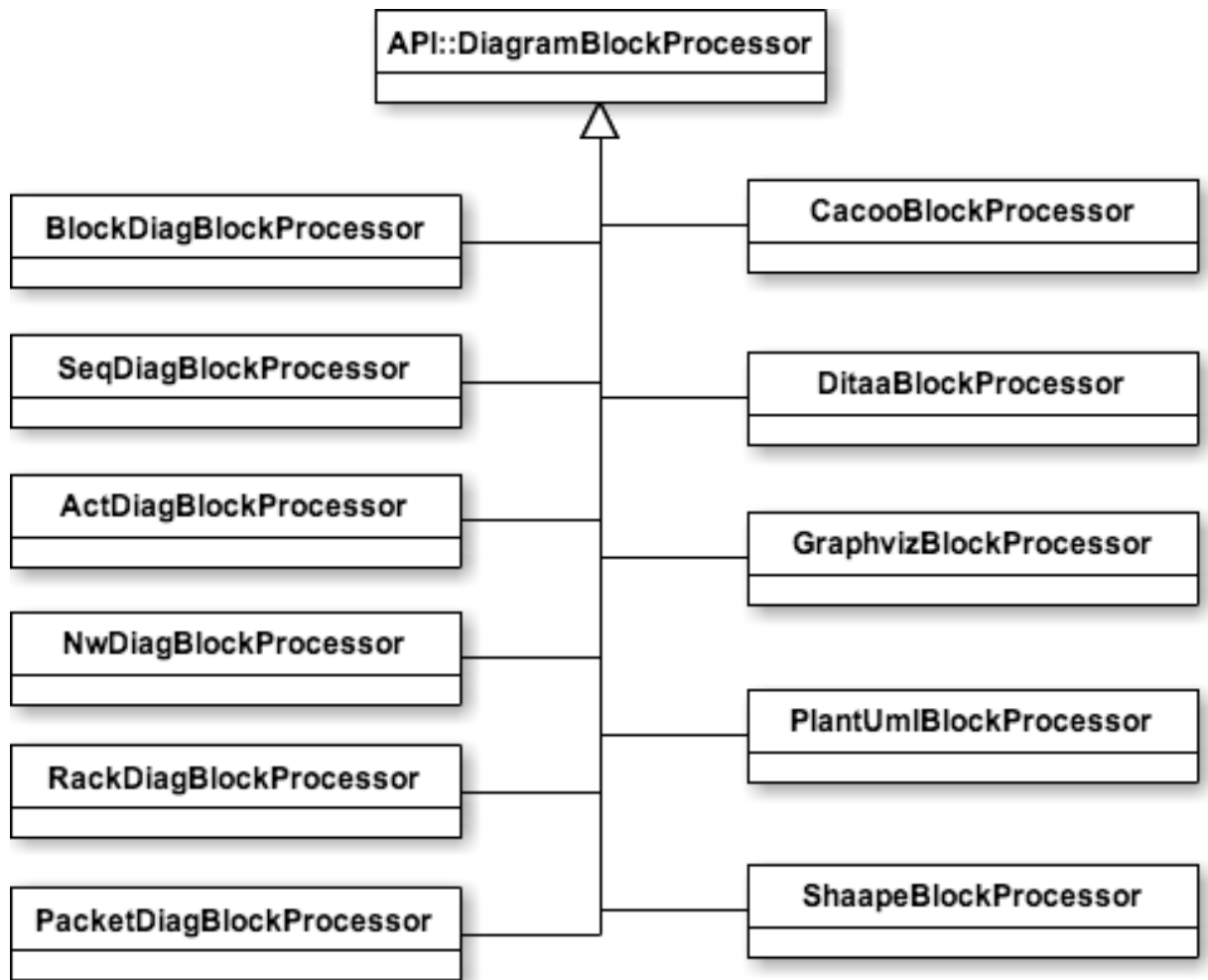
## 1.2. Cacaoで作成した図をPNGで埋め込み

まずCacaoのdiagramIdを知る必要があります。例えば図を表示するURLが <https://cacao.com/diagrams/f0MLos8tgXXxaTBv> であれば、diagramIdは f0MLos8tgXXxaTBvとなります。

あとはAsciiDoc文書内で以下のように書けば、図を埋め込むことができます。

```
cacao::f0MLos8tgXXxaTBv["png", alt="DiagramBlockProcessor class"]
```

以下に例を示します。



## 1.3. Cacooで作成した図をSVGで埋め込み

### 1.3.1. Cacooの図をSVGでエクスポート

Cacooで図を開いて [エクスポート]/[SVGでエクスポート] メニューで図をSVG形式で保存します。

### 1.3.2. SVGを編集してwidthとheight属性を追加

保存したSVGファイルをテキストエディタで編集し、ルートの `svg` タグにwidthとheight属性を設定します。viewBox属性がついていますので、その幅と高さに合わせます。

例えばルートの `svg` タグが以下の様な場合

```
<svg contentScriptType="text/ecmascript" xmlns:xlink="http://www.w3.org/1999/xlink"
zoomAndPan="magnify" contentType="text/css" viewBox="75.0 34.5 441.0 265.5"
```

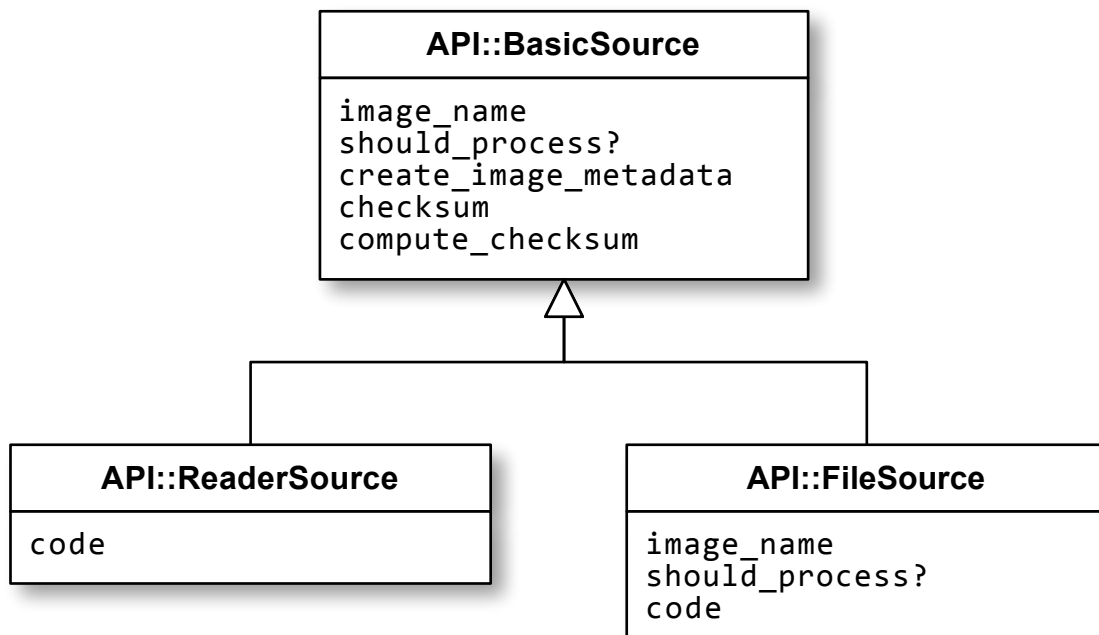
```
xmlns:cacoo="http://cacoo.com/" preserveAspectRatio="xMidYMin meet" xmlns="http://www.w3.org/2000/svg" version="1.1">
```

`viewBox="75.0 34.5 441.0 265.5"` となっていますので `width="441.0"` `height="265.5"` を追加します。

```
<svg contentScriptType="text/ecmascript" xmlns:xlink="http://www.w3.org/1999/
xlink" zoomAndPan="magnify" contentStyleType="text/css" width="441.0"
height="265.5" viewBox="75.0 34.5 441.0 265.5" xmlns:cacoo="http://cacoo.com/"
preserveAspectRatio="xMidYMin meet" xmlns="http://www.w3.org/2000/svg" version="1.1">
```

### 1.3.3. SVGをAsciiDoc文書に埋め込み

あとは通常の画像の埋め込みと同じで ``image::ファイル名[ ]`` と書けば画像を埋め込みます。以下に例を示します。



SVGを埋め込むのは手順が面倒ではあるのですが、PNGを埋め込む場合とくらべて図の中の文字が読みやすいので、できればこちらの方式にしてください。